

山梨県オレンジリボンキャンペーン

子どもが健やかに成長できる社会を目指して



オレンジリボンをクリスマスツリーに飾る親子

全ての子どもは、いかなる差別も受けず、幸福、愛情、そして理解のある雰囲気の中で成長すべきです。しかし、残念ながら近年は全国的に児童虐待に関する相談件数が増加する傾向にあります。この状況を受け、県では児童虐待防止のためのさまざまな取り組みを行っています。特に、11月の「児童虐待防止推進月間」には、多くの県民の方々に関心をもってもらうため、集中的に啓発活動を実施しています。

虐待から子どもを守る

虐待をはじめとするさまざまな事情により、家庭で暮らせない子どもは、一時的に家庭に代わる環境の下で養育される必要があります。このため県では「やまなし家庭的養護推進プラン」を策定し、家族の一員として子どもを迎え入れて養育する里親制度の推進や、子どもたちが生活を共にしながら養育を受ける児童養護施設を小規模化・地域分散化するなどし、子どもと養育者の信頼関係をつくりやすくする環境整備に努めてきました。また国が「新しい社会的養育ビジョン」を掲げたことを受け、県でも、地域や社会が、虐待を受けている子どもなどの要保護児童はもちろん、全ての子どもとその家庭を支えることができるよう、社会全体で養育を推進する新しい計画の策定を進めています。

子ども福祉課
清水 愛 主任

児童虐待の相談件数が年々増加している中、要保護児童の多くは、里親への委託ではなく、児童養護施設などに入所しています。施設入所児童の割合は、全国では約4万5千人の要保護児童のうち約9割、本県では約300人の要保護児童のうち約7割となっています。これは、里親制度がまだ日本では根付いていないという課題があるためです。今後は、里親制度への理解を進めるためにも、家庭的な環境での養育を優先する機運づくりが必要です。

11月には「児童虐待防止推進月間」に合わせ、集客施設において児童虐待防止のPR活動やテレビコマーシャルの放

児童虐待防止推進月間 山梨県オレンジリボンキャンペーン

一人でも多くの県民の皆さんに関心を持っていただけるよう、児童虐待防止推進月間の初日に当たる11月1日に、イオンモール甲府昭和でオープニングセレモニーが開催されました。当日は「二日オレンジリボン隊」に任命された県内各地で活動するゆるキャラたちが大集合し、チラシの配布や児童虐待防止のための啓発活動を行いました。



一日オレンジリボン隊として集結したゆるキャラたち



た。虐待防止のメッセージが込められたオレンジリボンを作成し、親子でクリスマスツリーに飾るなど、楽しみながら子どもたちの未来を考える機会にもなりました。会場では里親制度について知ることができるブースや育児に関する相談ができる産前産後ケアセンターを紹介するブースも設けられ、来場者からは「最近、虐待のニュースを見守る必要があるので、地域で子どもを見守る必要がありますね」などの声が聞かれました。

映、虐待が子どもに及ぼす影響をテーマとした講演会などを行いました。今後も児童虐待の未然防止に努めるとともに、家庭で暮らせなくなってしまう子どもたちの支援に取り組んでいきます。

知事と語る「子どもの未来につながる支援」

9月には「家庭での養育が困難な子どもの未来につながる支援」をテーマに、児童養護施設や里親の皆さんが知事と直接意見交換を行いました。参加者からは、子どもの課題を専門に扱う「子ども家庭総合支援拠点」の市町村への設置、養護施設退所後も継続的に自立を支援する制度や、包括的に里親家庭を支援する機関の必要性などについて意見が出されました。これに対して



県庁で行われた「知事と語るやまなしづくり」(9月)

まず知事は、子育てや子どもに関する問題に一元的に取り組むため、今年度新設した「子育て支援局」について説明し、指摘を受けたさまざまな課題は、解決に向けてできることから着手し、子どもが

健やかに成長していける山梨づくりを目指したいと、強い決意を語りました。



児童虐待防止推進月間に合わせオレンジ色にライトアップされた県庁別館

「児童虐待かも」と思ったらすぐにお電話ください

「いちはやく」の相談が大切です。児童相談所虐待対応ダイヤルは189(いちはやく)! 児童虐待の通報や相談を24時間受け付け、通話料は無料です。189番にかけるとお近くの児童相談所につながります。児童虐待の早期発見のため、お住まいの市町村窓口、または「189」をご活用ください。



いち はやく
189

児童虐待に関する専用ダイヤルです

市町村窓口はこちら

【問い合わせ先】 子ども福祉課 TEL 055-223-1457 FAX 055-223-1509

山梨 児童虐待

検索